



2009年8月2日
号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

2009マニフェスト発表 鳩山代表

人を大切にする政治へ

鳩山由紀夫代表は7月27日、都内で開かれた「政権交代選挙にのぞむ2009民主党マニフェスト発表会」と題した記者会見で、約500人の報道陣に民主党の政権政策を発表しました。



鳩山代表は、明治維新以来の「官僚主導の政治」から「国民が主役の政治」への大転換を果たすことが政権交代の目標であると表明。また、中央集権の政治から地域主権の政治に切り替えるための五つの約束「ムダづかいの根絶、子育て・教育支援の拡充、年金・医療制度の充実、地域主権の実現、雇用・経済政策」と、政権構想を発表しました。

さらに、「1日100人以上の方々自ら命を絶っている。こんな不条理な日本を変え、一人の命も粗末にしない政治にしなければならない。ハコモノやコンクリートではなく、人を大切にする政治をつくらなければならない。子育て・教育、年金・医療、雇用などに予算を配分する」と強調しました。

国会議員100人を大臣などの政府要員とすること、閣僚委員会を設置し、事務次官会議を廃止すること、国家戦略局を設置することなどについても説明しました。

次に直嶋正行政策調査会長が、工程表（政策実現の年次表）、財源を説明しました。

記者からの赤字国債の発行はないかとの質問に、直嶋政調会長は「極力発行しない。経済のテコ入れが必要な時はあり得る」と述べ、ムダを省くこと、予算編成方針そのものを変えることで十分財源を確保できると答えました。

また、消費税の質問に、鳩山代表は「4年間は上げない」と明言したうえで、将来の年金などの財源のために議論もしないというのは言い過ぎだったと述べ、岡田幹事長、藤井税調会長との間での見解の相違はないとしました。

小泉マニフェスト総点検を発表

公約違反と批判 岡田幹事長

岡田克也幹事長は7月30日、静岡市内で記者会見し、「小泉マニフェスト2005と自民党政



権4年間の総点検」を発表。郵政民営化に代表される「小泉改革」が看板倒れだと指摘するとともに、「消えた年金」「消された年金」問題への対応は明らかに公約違反であるとの見解を述べました。

また、医療に対する地域住民の不安は増すばかりであり、待機児童が4万人、都市部では今も急増中という状況からも、医療や子育て支援策についての自民党の公約が進展したとは言いがたいとの考えを示しました。

岡田幹事長はこのほかの項目についても公約違反を報告したうえで、「マニフェストは国民に対する約束だ。この4年間をみるかぎり、ほとんど実現できていない」と批判しました。

岡田幹事長は、「マニフェストは期限を明示して財源の裏付けを持って約束をするのが基本だ」と、改めてその性格を示し、「自民党は昔ながらの古い形の『公約』の域を脱していない」とも指摘しました。

任期の間に大半を実行するという話でないならば、政権政策の名に値しないとしたうえで、「具体的な政策を期限、財源について説得力を持って語るマニフェストを期待したい。そうしないと政策論争にならない」と語りました。